

## 優秀賞

中学生部門〈家族の絆〉

西脇市立黒田庄中学校1年

日高 愛香

## 小さなアルバム

最近、自分の部屋ができました。理由は二つ。高三で受験生の兄と、中学生になった私が、お互い勉強に集中するため。そして、私に一人で居る空間が必要だったため。

お父さんとお母さんは、いつも家でピリピリしています。なので私は、両親の顔色ばかりうかがってずっとニコニコして過ごしていました。そんな日が長い間続き、心を休める時間がなくて、とうとう私は精神的に限界をむかえてしまいました。もう、笑顔を作るのが辛かったです。そしてその時、お父さんは私が生まれる前からうつ病だった事を知りました。それからはお父さんに相談に乗ってもらって、少しずつ元気になってきましたが、両親の言い合いが無くなる事はありませんでした。

ある日、新しくできた自分の部屋でポーツとしていると、棚の上にある箱が気になって、開けてみました。そこにはたくさん写真が。一枚一枚見ていくと、一番下にいていぬいに包まれた小さなアルバムがありました。中は、一枚の手紙と、結婚式から私の誕生までの家族の写真でした。私が赤ちゃんだった頃に書かれた手紙はお母さんのもので、

「わたしは、お父さんと子供たちと過ごせることが何よりも幸せです。世界一だぞ!!」

と書いてありました。アルバムの中のお父さんとお母さんはどれも笑顔で、ずっと寄りそっていて…私は涙が止まらなかつたです。またあの写真のような二人の笑顔が見てみたいと、心から願いました。そして、私もそのために明るい気持ちで少しずつ頑張っていこうと、そう思いました。何か月後、何年後になるかは分からない。でも、あのアルバムの余っているページには、必ず、家族四人で笑い合う一枚をかざりたいです。